実践的な訓練で災害に備える

津奈木町合同防災訓練

消火栓の取扱いの説明が行われました

12月2日（日）、町内15地区公民館で合同防災訓練が実施され、各地区合わせて約700人が参加しました。この訓練はさまざまな災害から身を守るため、より実践的な防災訓練を通して、町民の自助・共助の意識を高めることを目的に行ったものです。

古川地区では約55人が参加。午前9時の有線放送の合図で公民館に集合すると、点呼で人数確認を行ったあと、炊出し訓練や消防団による消火栓取扱いの説明などが行われました。海抜表示板の確認や緊急避難場所までの移動訓練も行われ、今までよりもより質の高い防災訓練が行われました。

こころを込めた贈り物

津奈木幼稚園からの贈り物

11月21日（水）、津奈木幼稚園年長児13人が役場を訪れ、中の様子を見学するとともに、副町長へ手作りの贈り物を手渡しました。これは、勤労感謝の日に合わせて、普段からお世話になっている町長や教育長、駐在所の人などに感謝の気持ちを伝えようと行われているものです。

今年は手作りクッキーにメッセージを添えたものがプレゼントされました。園児たちは「いつもお仕事お疲れ様です。これからも町のために頑張ってください」と元気にあいさつをしてくれました。

クッキーが副町長へ手渡されました

草むらの中にはたくさんのごみが落ちていました

みんなで町をきれいに

身障互助会クリーン作戦

12月1日（土）、芦北郡手をつなぐ育成会の主催で本町総合グラウンド周辺の清掃ボランティア活動が実施されました。障がい者の活動支援を目的に行われ、今回は本町と芦北町の身体障がい者互助会や老人会など約150人が参加しました。各会員は周辺を歩いて回りながらごみを拾い、燃えるごみから金属類などの不燃ごみまで合わせて約170kgものごみが回収されました。

清掃活動の後はB＆Gプール横の広場でグラウンドゴルフ大会が開催され、会員間の交流を深め合いました。

支援活動のため車を配備

日赤災害救護車配備

11月30日（金）、災害救護対策の充実と赤十字事業の推進を図るため、日本赤十字社熊本県支部から日本赤十字社津奈木町分区へ災害救護車が配備されました。

この車は、赤十字思想の普及や町内の災害時における救護資材、救護物資の輸送などの災害救護活動や支援活動があったときに活用されます。日本赤十字社熊本県支部事務局長の川口弘幸さんは「日頃からの町民皆さまの日本赤十字事業へのご協力に心より感謝致します。これから大切に使ってください」とあいさつされました。

役場玄関前で引き渡し式が行われました

ぺったんぺったんと一生懸命つきました

つきたておもちは最高！

津奈木保育園もちつき

12月6日（木）、津奈木保育園でもちつきが行われました。これは保育所地域活動事業の一環として毎年行われているものです。

今回は保護者などの協力のもと、9kg分のもちがつきあげられました。もちをつく準備ができると、園児たちは列を作って順番にもちつきを体験し、年長組はもちを丸める作業もしました。つきたてのもちができると園児たちは砂糖しょうゆにつけ、とてもおいしそうに食べていました。「おいしすぎて12個も食べた」と話す園児もいて、みんなとても満足そうな表情でした。

素晴らしい歌声に最優秀賞

熊本県身体障がい者歌謡祭

12月14日（金）に熊本市城南町火の君文化センターで開催された熊本県身体障がい者歌謡祭に、本町から木下義竹（よしたけ）さん（染竹）が出場し、素晴らしい歌声で見事最優秀賞を獲得しました。

木下さんは今回の音楽祭だけではなく、水俣や芦北などさまざまな地域で開催されるカラオケ行事にも参加し、楽しんで歌っているそうです。「表彰式のときにはあまりの嬉しさに感極まって涙ぐんでしまいました。これからも大好きな歌を続けていきたいです」と、とてもにこやかな表情で語っていました。

最優秀賞を獲得した木下さん